

庁内での業務



自主勉強会の開催（4回）

- vol.01 効果的な会議の進め方
- vol.02 播磨町の防災のはなし
- vol.03 事例から知る協働のまちづくり
- vol.04 播磨町の公共施設



人材育成基本方針の策定

人材育成基本方針と評価の仕組みについて、ワークショップのファシリテーターを務めました。



各種研修会講師

行政評価研修、新任教員研修等で Harima to the Future を活用した研修をおこないました。

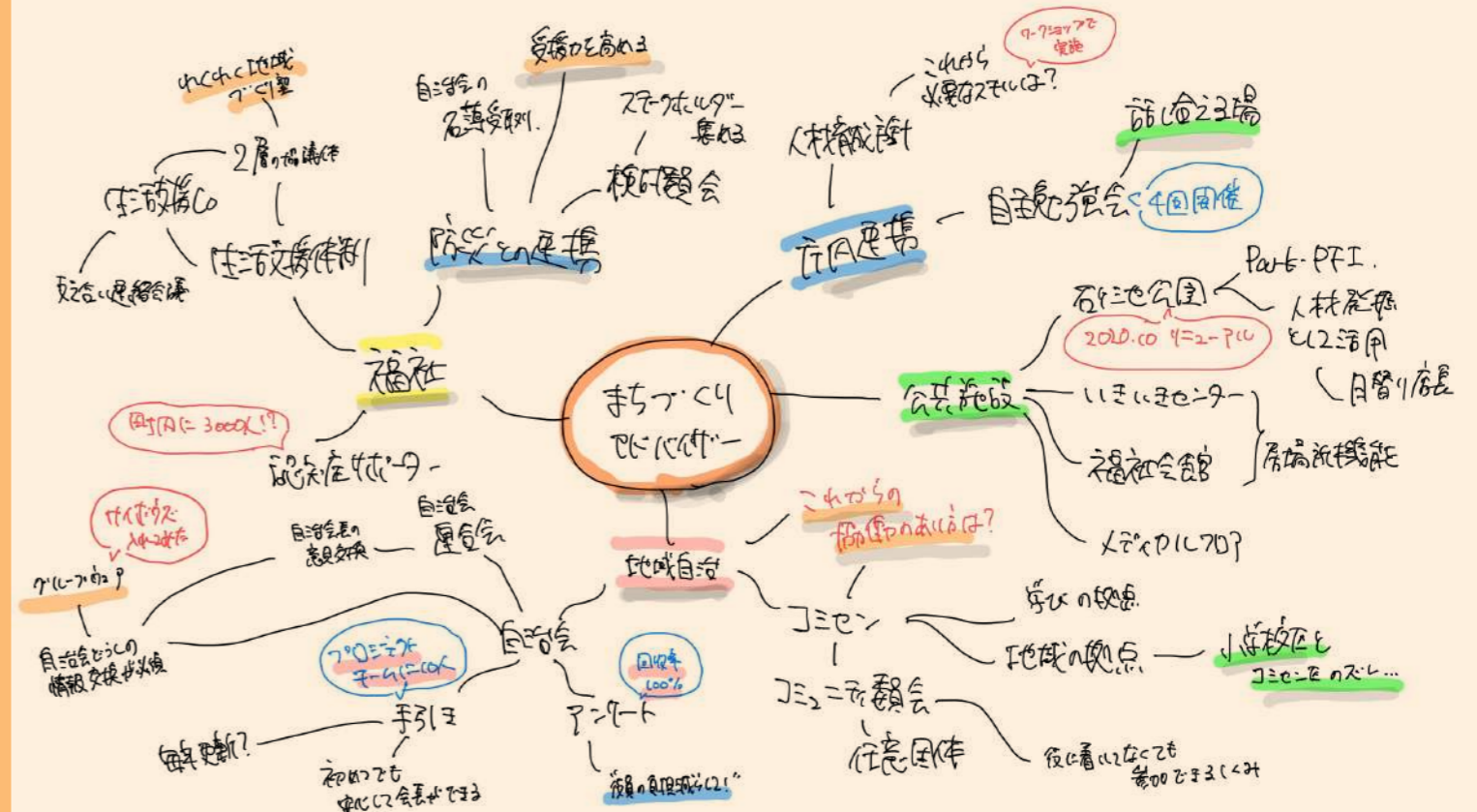
職員より

福祉グループ松原さん

令和元年度に事業を委託したご縁から、防災と福祉の連携促進事業でのサポートをお願いしました。この事業をきっかけに、住民一人ひとりの防災意識が高まる地域づくりにつながられたら、という思いがありました。今年度は地域に入って事業を進めることが難しい状況だったので、昨年度までの課題を整理し、今後の方向性を探るべく検討委員会を立ち上げました。

佐伯さんには、検討委員会の論点整理を含め、事業全般に関して幅広く助言をもらっています。合言葉は、「つながりましょう」で、同事業を担当している内閣府や自治体などと、WEB会議で意見交換や情報共有を積極的に行っています。佐伯さん自身がかく引き出しの多い方ということもあり、会話の中からヒントや方向性が見えてくるのがよくあります。

まちアドとの仕事で、気を付けているのは、頼りすぎないこと。担当としてすべきことは確実に行ったうえで、助言をもらうようにしています。また、まちアドがいないと成り立たない事業ではなく、仕組みとして機能するような事業に展開することを考えています。



播磨町まちづくりアドバイザー令和2年度報告
2020 Annual Report

播磨町まちづくりアドバイザーとは

播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズにより細かく対応するため、令和2（2020）年度からまちづくりの専門職員として「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援し、地域力の向上を図ってまいります。

播磨町 まちづくりアドバイザー（企画グループ内）

〒675-0182 兵庫県加古郡播磨町東本荘1丁目5番30号

電話番号：079-435-0356（内線：120）

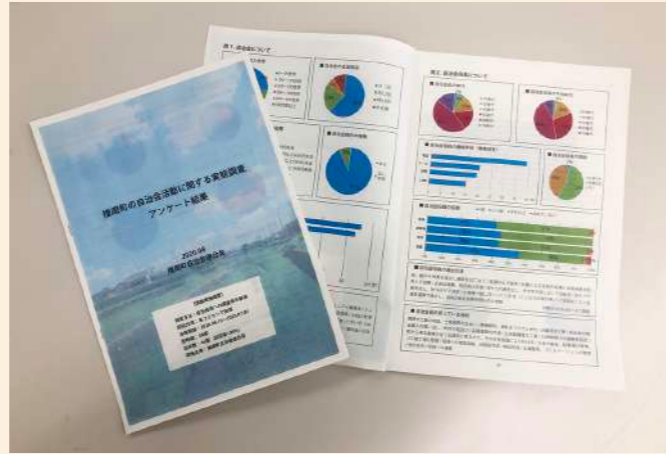
メール：machiad@town.harima.lg.jp

自治会に関すること

自治会長アンケート

播磨町には 46 自治会があります。それぞれの実態を把握するため、「播磨町の自治会活動に関する実態調査アンケート」を自治会連合会が主体となって実施しました。各コミセンに回収をお願いしたところ、回収率は 100% でした。

このアンケート調査によって、播磨町の自治会が抱えている課題が明らかになりました。結果は右記 QR コードからご覧ください。



結果をまとめた冊子を発行

自治会運営手引プロジェクト会議

アンケートの結果、「自治会役員の負担軽減」を求められていることが明らかとなったため、その一助として自治会長向け手引をつくることとしました。

作成にあたって自治会長に呼びかけたところ、10 名の有志の方が自主的にプロジェクトチームに参加してくれました。プロジェクト会議での議論の結果、「初めての自治会長が安心できる実用的なもの」をめざすこととなりました。

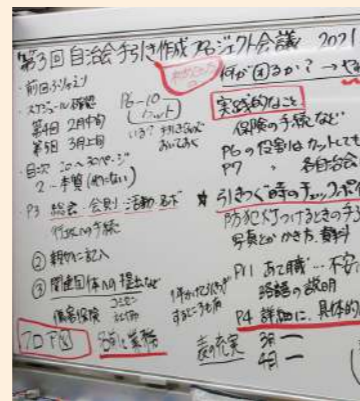
500 部を発行し、各コミセンから令和 3 (2021) 年度の自治会役員に配布しました。

プロジェクト会議のスケジュール

| | 日時 | 内容 |
|---|------------|-------------|
| ① | 2020.11.13 | ・内容のアイデア出し |
| ② | 2020.12.10 | ・手引の目的の設定 |
| ③ | 2021.01.15 | ・素案から方向性の確認 |
| ④ | 2021.02.12 | ・原稿の確認① |
| ⑤ | 2021.02.26 | ・原稿の確認② |
| ⑥ | 2021.03.09 | ・最終校正 |



プロジェクト会議の様子



会議の内容はホワイトボードに残していきま



完成した手引

自治会長の情報共有システムの導入

自治会長同士での情報交換の機会づくり、町に提出する各種書類の様式等の保管場所として、グループウェア(サイボウズ office)の運用を開始しました。よくある Q&A や情報交換に活用していく予定です。

地域コミュニティに関すること



防災と福祉の連携促進事業
検討委員会の論点整理や今後の業務の進め方について長期的な視点でのアドバイスをおこないました。



生活支援コーディネーターとの協働した講座企画
地域の担い手発掘を目的として、野添区で連続講座を企画しました。



認知症サポーター支援事業
認知症サポーターに向けた講演で講師を務め、今後のサポーターの自立についてアドバイスしました。

公共施設に関すること



石ヶ池公園パークセンター
パークセンターの活用として、日替わり店長によるカフェの運営、イベント開催等をアドバイスしました。

健康いきいきセンターの今後のあり方について

指定管理者、利用者、地域住民、町で話し合う場をつくりました。4 回の会議を経て、現在の課題、利用者の現状を把握し、いきいきセンターにこれから求められる機能やあり方について検討を進めました。

福祉会館の活用について

福祉会館が多様な住民の拠点となるように、登録団体との協働の方法や、居場所となるように館内の備品レイアウトなどについてアドバイスをおこないました。また、直営 1 年目であり、広報物を刷新することから、パンフレットのデザインについて支援しました。

メディカルフロアの活用について

委員会・審議会等への参加

- ・播磨町長期総合計画審議会
- ・播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会
- ・播磨町生涯学習推進計画(第3次)策定委員会
- ・播磨町教育振興基本計画検討委員会

広報・情報発信

- ・広報はりま「まちアド通信」連載 (2020.06~2021.03)
- ・まちアドレポート発行(3回)
- ・サンテレビ「ひょうご発信!」IDO カフェ (2020.9.27 放送)
- ・ISV(インハウススーパーバイザー)協会 オンラインインタビュー